

温故知新 社会・環境部会のこれまでの活動とこれから

社会・環境部会は、1999年に、原子力の平和利用と社会・環境との調和を探究する研究の場として設立されました。

現在まで、以下のような多彩な取り組みを精力的に展開しています：

年会・大会における企画セッションの開催、部会賞の授与による功績の顕彰、勉強会の開催を通じた知見の共有、マスメディアとの交流会による社会的対話の促進、研究専門委員会への参画による政策・技術への貢献、シンポジウムの企画・運営、参考図書・推薦論文の紹介、HP・SNSによる情報発信 等

過去から学ぶ

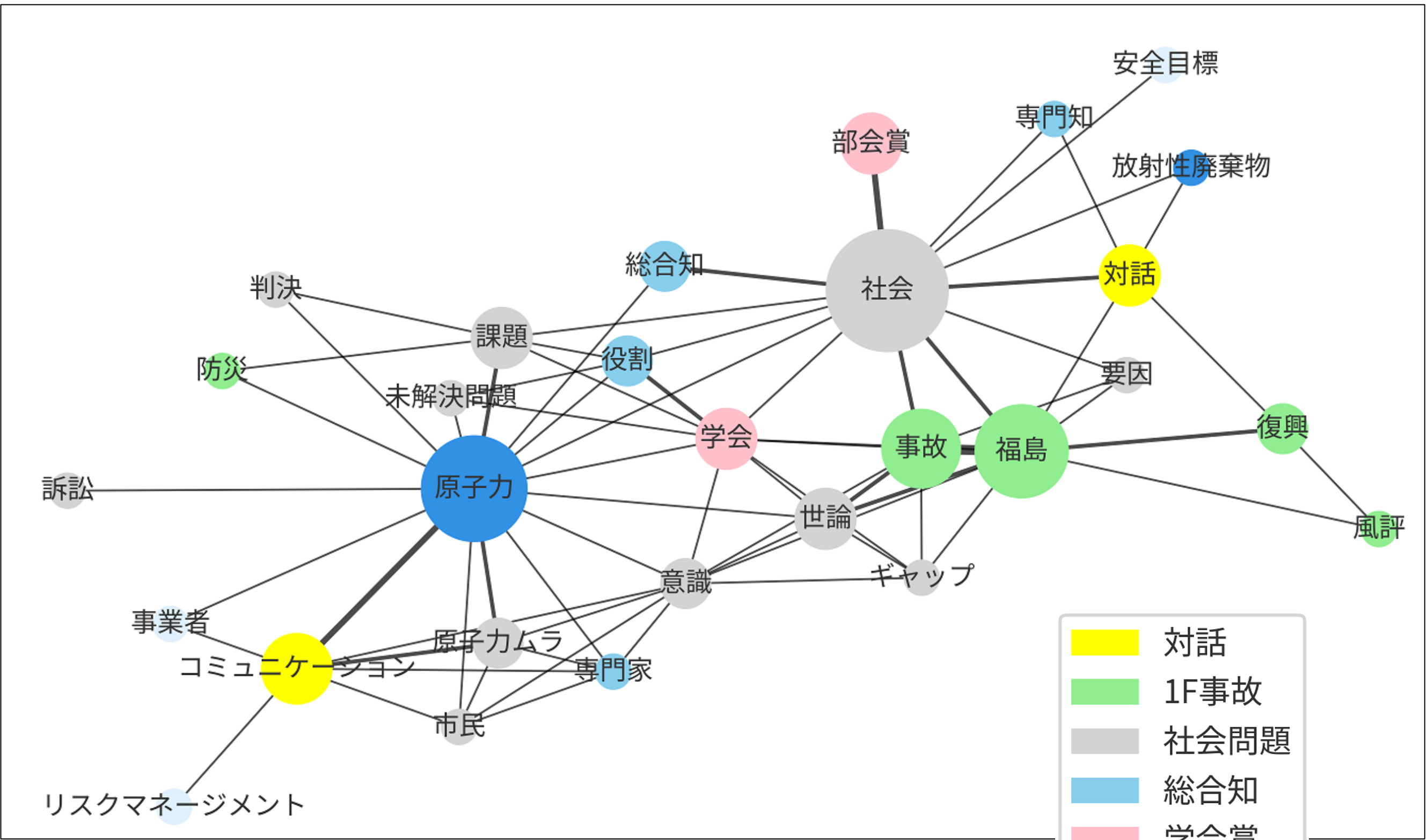
社会・環境部会は、福島第一原子力発電所事故の分析を出発点に、原子力の安全性、世論との関係、そして専門知のあり方について問い続けてきました。その過程で、社会との対話が果たす役割、制度や政策への視座、研究者・技術者としての姿勢といった視点を少しずつ形にしてきたことが、部会の歩みそのものです。これまでの企画セッションの蓄積は「原子力とは社会にとって何か」という根源的な問いに対する、多面的な探求でもあります。そして今、過去の知見と対話の軌跡は、現代の課題に向き合うための思考の糸口を拓いてくれます。

未来を創る

社会・環境部会は、原子力をめぐる多様な社会的課題に対し、対話と知の蓄積を重ねてきました。その経験を基盤として、私たちは今、未来を切り拓く新たな問いを立て、持続可能な社会との関係性を再構築する挑戦を続けています。制度設計、政策形成、技術開発の現場において、研究者・技術者が果たすべき役割とは何か。社会との信頼を築くために、どのような姿勢と知が求められるのか。これらの問いに向き合いながら、部会は未来志向の議論と実践の場を育んでいます。これまでの歩みを礎に、次の世代へとつなげる視座と対話を紡ぎ出すこと。それが、私たちの「未来を創る」取り組みです。

企画セッションの軌跡（2010-2025）

年	年会・大会	タイトル
2025	秋	高レベル放射性廃棄物処分をめぐる社会との対話
2024	秋	「対話の場」から福島の復興と廃炉を考える
2024	春	原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題
2023	秋	2022年度 社会・環境部会賞受賞記念講演
2023	春	原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題
2022	秋	福島原発事故をふりかえる
2022	春	「風評」と「風評被害」を再考する
2021	秋	2020年度 社会・環境部会省受賞記念講演
2020	秋	原子力に対する世論動向
2019	秋	社会課題への貢献に向けた学会の役割
2019	春	原子力防災の現状と課題
2018	秋	原子力事業者のコミュニケーション活動を考える
2018	春	福島復興に向けた「風評被害」への対応
2017	秋	社会との対話と専門知
2017	春	「社会との約束事」としての安全目標は、いかにして可能か？
2016	秋	2016年度 社会・環境部会賞受賞記念講演
2016	秋	原子力発電所関連訴訟について学ぶ
2016	春	原子力界の未解決問題－原子力学会が果たすべき役割
2015	秋	2015度 社会・環境部会賞受賞者記念講演
2015	春	「原子カムラ」の境界を越えるためのコミュニケーション・フィールド「フォーラム」の取り組み
2014	秋	原子力界にとってこれから解決すべき課題と方向～大飯判決が私たちに問いかけるもの～
2013	秋	市民および専門家の意識調査・分析「原子カムラ」の境界を超えるためのコミュニケーション
2013	春	福島原発事故の社会的側面の分析
2012	秋	福島事故に関する世論と学会員の意識のギャップをどう埋めていくか
2012	春	福島事故の社会的要因分析に関する研究報告
2011	秋	福島事故後の世論をどう読み、どう向き合うか
2010	秋	リスクマネジメントとコミュニケーション



この共起ネットワークは、企画セッションタイトルに含まれる主要キーワードの共起関係を可視化したものです。中心には「原子力」「社会」「福島」などが位置し、対話、事故、復興、風評、学会賞など多様なテーマと結びついていることがわかります。部会の議論は単一のテーマに閉じず、技術・社会・制度・知の各側面が有機的に関わり合いながら展開されてきたことが確認できます。

未来へ共に歩もう

社会・環境部会の歩みは、これまでの知と対話を礎にしながら、次世代に向けて新しい可能性を広げています。いま必要なのは、これからを担う若い世代の新鮮な発想と参加です。未来を形づくる議論と実践の場に、あなたも加わってみませんか。

日本原子力学会 社会・環境部会の概要
Social and Environmental Division, AESJ

設立：1999年3月
部会員：約100名
部会HP：<https://aesj.net/sed/>

企画セッションの詳細はこちらから



表のカテゴリー

対話 1F事故 総合知
学会賞 社会問題